

アメリカで会社を作って自己実現

起業人



【第43回】MAX Consulting Group, Inc. 名倉学氏

経歴と起業の経緯

関西外国語大学在学中にNY州立大学に交換留学。留学中に将来大会社の次期社長になる同級生に刺激を受け、教職関係のキャリアを目指していたがビジネスに方向転換。85年にマンハッタンを訪れた時に、将来はNYCで起業すると決意。日本に帰国後、当時、アメリカ進出を目指していた人材派遣会社に就職。88年に前職の駐在員として渡米。90年、NY支店長に就く。90年にアメリカ人と結婚。93年、駐在員としての期間が終了したと同時に将来を具体的に考え直し、1年後に退職し、同業種で起業した。

起業した時、苦労したこと

まず自分の会社なので、何が起きている「苦労」とは思わなかった。全てを「修行」として解釈した。起業から今までに至るまで、全て自己資金で

名前：名倉学
会社名：MAX Consulting Group, Inc.
設立年：1994年7月
会社の形態：C-corp
設立州：DE州
ビザの経由：L1からGreen Card
資本金：10万ドル
従業員数：12名
URL：www.maxjob.com

賭って来たため、キャッシュフローについては何度も苦しい目にあっただ。幸いにも、自己資金が底を付きそうになった時に、業績が上がりに始め問題がなくなつた。何度か財政的な危機が訪れた時も毎回も切り抜けることが出来た。起業当初一年は妻の収入だけで暮らしていたため、予算がなく少しでも安く上げるために週末に中華街で買い物し、魚を会社の冷蔵庫に入れて仕事をしていた、オフィスが魚臭くもなつたこともあった。最初の6年は自分で事務処理をしたため、週末や休暇は全くなかった。顧客からの信用、信頼を得るため、誠実なサービスを徹底したお陰で、信頼度が上がり殆どの在米NYエリアの日系企業から「依頼を頂くことが出来るようになった。」

これから起業する人へのアドバイス

会社が、上司が、職場環境が嫌だから、という理由で起業するのは起業は勧めない。上司や社長を満足させる事も出来ない人が起業しても顧客を満足できない。全責任は経営者にあり、自己資産までなくなる可能性もあることを理解するべき。起業するのは誰でも出来るが継続は別。何を始めるにも、何の目的で起業したいのかが重要。信念を持ち絶対に成功させるという自信を持つ事。最後に、従業員や顧客の方にもいつも感謝の気持ちを持たずに心がけること。